



ベトナム国際インターン研修

国際センター企画夏季短期研修

実施日:2022年8月15日~2022年8月26日
 実施方法:Zoomオンライン
 発表者:医学部保健学科検査技術科学専攻1年 久保 鈴菜



私が研修に参加した目的

私は将来、医療の分野で国際的に活躍したいと考えている。このインターン研修に参加することで、以下の三点を得られる、また私の思い描く将来に繋がる経験ができると考えたため参加を決めた。

- ①実際の海外の状況や特徴に関する知識、
- ②自分とは違う環境で育った人たちとのコミュニケーションの経験、
- ③英語をツールとして用いて何かをやり遂げる中でのテクニック

研修のスケジュール

8/15	Orientation	
8/16	Workshop how to work	
8/17	Hospital tour Healthcare system in	Project work
8/18	medicine garden tour eastern western influence	
8/19	Medical project work	
8/22	Design thinking	
8/23		
8/24	Mentor advising	
8/25	Final Presentation	
8/26	Closing Presentation	

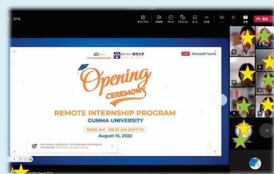


図1 Opening ceremony

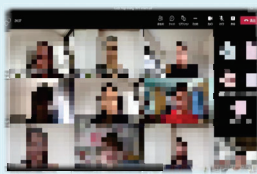


図2 Closing ceremony

研修先の紹介

私はFPT大学(インターンシップコーディネイト大学)のMedical Internshipに参加した。
 また、フエ医科薬科大学の病院、薬草園を見学させていただいた(図4)。



図3 Opening ceremony



図4 Hue University of Medicine and Pharmacy

面白かった講義①

病因見学の講義

ハノイ医科大学病院と薬草畑の紹介ビデオを見た(図5)。待合室が診察室と近かったことに驚いた。他国の大学病院の内部を見たことがなかったので新鮮だった。大学病院ということもあり思いのほか綺麗で日本の地方の病院と設備は大差ないように思えた。また、医療従事者たちの制服がおしゃれで素敵だなと思った。

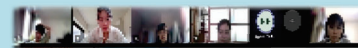


図5 病院見学VTR



図6 Design thinking 講義課題例



面白かった講義②

Design Thinking

この講義ではアイデアを出す方法や仮設の積み上げ方、考察の仕方など論文を書き上げるときに役立つスキルを学んだ。実際に講師の方が例題を出し、それについてグループまたは個人で自分の考えを作成していく形式だった(図6)。今まで習ったことのないツールを習い、これからの大学生活に役立つ学びを新たに得られたと感じた。

楽しかったイベント

Student Exchange

ベトナムの学生と群馬大学の学生の混合グループを3つ作り、ゲームで競い合った(図7)。当日のチーム紹介に向けて発表スライドと紹介動画を準備し、チーム名が魅力的に聞こえるように工夫してスローガンとともに発表した。事前準備のためにベトナムの学生とたくさん意見交換ができ、とても楽しかった。ゲームでは、両国の伝統的な物をイラスト伝言ゲームを通して学んだことが特に印象に残っている。

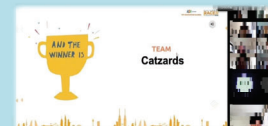
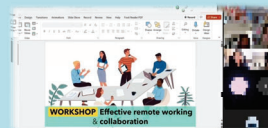


図7 Student Exchange



研修のエピソード

講義終わりに課題を協力して行うために学生のグループだけで度々ミーティングをした。課題が終わった後は毎回ベトナムの学生と互いの地元や大学、学んでいることや趣味など、様々な話をとても楽しかった。

私が学んだこと・感じたこと

ベトナムでは地域、貧困格差が大きいこと。そしてそれが見えにくいこと。病院見学の前に、講師の先生が自身の出産時に病院内で経験した話を伺うことができた。一つの部屋に同じように出産した母と子が5,6組いて他人の目を気にせず休む時間もなかったと仰っていた。また、講義内でも通路の隙間に仮設ベッドを作り患者を寝かせている様子を拝見した。しかし、その後視聴した病院VTRでは患者が溢れかえる様子もなく、私がよく見る清潔感のある病室だった。講師の先生が行かれた病院は地方の国立病院で、VTRで流れた様子は都市の私立病院を映したものだった。講師の方もVTRを見て私立病院と国立病院の設備の差に驚かれていた様子だった。そこで私は、他のメディアを通さずに自分で物事を実際に見たり調べることの大切さを学んだ。

会話の際は明確な表現を使用し、意味合いの確認もするべきだということ。私は留学中のある時の会話で自分の意と反する受け取り方をされてしまった。そこで私は特に重要そうな場面では自分の解釈を自分の言葉で伝えることで意味合いの確認をするようにした。コミュニケーションに必要なのはお互いの発言を分かるようとする努力、明確な表現とさりげなく意味合いを確認する配慮だと学んだ。

自分から積極的に動き、オープンになるほうが利益は大きいこと。自分の意見を出さないとチームとしての活動が滞りチームが困るだけである。チームであることを決める時にいい案が思いつかず黙ってしまい、ベトナムの学生も困った様子だった。しかし、私がアイデアの参考例についての意見を述べたら途端に議論が進んだ。恥ずかしかって何も反応しないより恥をかいてでも積極的に意見したり参加した方が得るものは大きいと分かった。また、自分の疑問をチームメイトと共有したり講師に話したりの方が効率的で他のアイデアを生み出すきっかけになることを学んだ。